

Jennifer MacDonald
Bloomberg New Energy Finance
+44 2035 259 332
jmacdonald29@bloomberg.net

化石燃料の価格低下にも関わらず、2015年のクリーンエネルギーの投資額は 3,293 億ドルに達する

昨年の再生可能エネルギーの導入量は、2014年より30%増加し過去最大。風力は64GW、太陽光は57GWに及んだ。

ロンドン、ニューヨーク、2016年1月14日 – クリーンエネルギーへの投資は中国、アフリカ、米国、ラテンアメリカ、そしてインドにて急増し、2014年の世界の総額 3,159 億ドルより4%多い、過去最高の3,293 億ドルに達し、2011年の記録を3%上回った。

[本日発表されたブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスの直近の数値](#)によると、2015年の世界のクリーンエネルギー向け投資額は、4つの阻害要因があったにもかかわらず、2004年に比べ6倍に増え、3,293 億ドルを記録した。

阻害要因とは、以下の4つである。一つ目は、太陽光発電コストのさらなる低下により、同額で導入できる設備容量が増えたことである。二つ目は米ドルが強かったため、米ドル以外の投資によるドルの価値を下げたこと。三つ目は、以前再生可能エネルギー投資が盛んだった欧州経済の弱まりである。最後に、そして最も重大だったのは、化石燃料価格の急落である。

2015年末までの18か月間にブレント石油価格が1バレルあたり\$112.36から\$37.28へと67%急落、北西欧州拠点への国際一般炭価格は1トンあたり\$73.70から\$47.60へと35%下がった。米国の天然ガスはヘンリーハブ指数にてイギリス熱単位あたり\$4.42から\$2.31と48%下落した。

ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスの諮問委員会の議長である Michael Liebreich は以下のように述べている。「これらのクリーンエネルギーに対する投資の数値は、急落した石油とガス価格によって失速するのではないかと予測されていたが、そうではなかったことを即座に証明した。太陽光と風力のコスト競争力が向上していることを示している。これは、多くの国が高い買取価格を設定するよりも、リバース・オークションによって新設分を導入する動きがさらに加速し、発電事業者が価格競争環境下に置かれることとなったためである。」

「昨今、風力と太陽光発電は多くの発展途上国の電源構成の中で、自然電源かつ重要な役割を占める技術として採用されてきている。つまり、これらの電源で発電された電気は、たびたび高い卸市場価格よりも安いということ。そして、将来的な化石燃料への依存を減らすこと。さらに、これらの技術は増加する電力需要を賄うために、最も早急に建設ができるからである。12月のパリ気候変動合意を鑑みれば、これらのトレンドが逆戻りすることは考えにくい。」

数値を詳細に見てみると、2015年にクリーンエネルギーに投資された3,293億ドルの大部分は、大規模プロジェクトのアセットファイナンスであった。例えば、ウインドファーム、ソーラーファーム、バイオマスや廃棄物発電所、そして小規模水力発電などである。2015年のアセットファイナンスの総投資額は、

前年より6%多い1,990億ドルと推定される¹。

昨年ファイナンスされた最も大きなプロジェクトには、北海と中国近海の一連の大規模洋上風力発電所が含まれる。例えば、英国の580MWのRace Bank(29億ドル)と336MWのGallop(23億ドル)、ドイツの402MW Veja Mate(21億ドル)、そして中国のLongyuan Haiyan JiangjiashaとDatang & Jiangsu Binhaiはそれぞれ300MW(8.5億ドル)が挙げられる。

陸上風力発電分野の最大のファイナンス先は1.6GWのNafin Mexico portfolioで、推定額は22億ドルであった。太陽光発電は、Silver State South projectで294MW、7.44億ドルであった。太陽熱発電あるいは集光型太陽熱発電(CSP)では、モロッコのNOORo portfolioで350MW、18億ドルであった。最大のバイオマスプロジェクトはブラジルのKlabin Ortiguera plantで330MW、9.21億ドル、そして最大の地熱発電はトルコのGuris Efelerで170MW、推定額は7.17億ドルであった。

アセットファイナンスに続いて、クリーンエネルギー分野において大きな投資額を占めたのは、屋根上及びその他の小規模太陽光発電プロジェクトであった。このカテゴリーにおける2015年の総投資額は、前年より12%高い674億ドルで、最大投資国の日本、それに米国、中国が続いた。

結果として、2015年の世界全体の風力及び太陽光発電導入量は、2014年を約30%上回り、風力発電は約64GW、太陽光発電は約57GWと推定される。この合計121GWは、2015年に世界で導入された全発電容量(化石燃料、原子力、再生可能エネルギー)の約半分を占めるほどであった。

昨年のクリーンエネルギー企業に対する公開市場の推定額は144億ドルであった。これは2014年よりも27%低いものの、10年間平均に沿っている。主な投資案件には電気自動車メーカーTesla Motoersによる追加公募7.5億ドル、新興市場の再生可能エネルギープロジェクトを保有する「イルドコ」TerraForm Globalによる新規株式公開6.88億ドルが含まれる。

ベンチャーキャピタル及びプライベートエクイティ(VC/PE)が、2015年にクリーンエネルギー企業に投入した資金は56億ドルであり、2014年よりも24%高い一方、2008年のピーク112億ドルと比べるとはるかに低い。主なVC/PE投資案件には、中国の電気自動車メーカーNextEVに対する5億ドルが含まれる。

スマートグリッドや発電事業向け蓄電池などエネルギースマート技術分野では、200億ドルのアセットファイナンスが行われた。同分野における推定額は過去9年間継続して増加しており、2015年の推定額は2014年を11%上回った。クリーンエネルギー投資の最後のカテゴリー、政府及び民間企業による研究開発向け総投資額は、前年よりたった1%高い283億ドルであった。この数値は、パリのCOP21合意発表のすぐ後に行われた、政府とBill GatesやMark Zuckerbergによる民間投資家の研究開発投資のベンチマークとなるだろう。

各国のトレンド

2015年のクリーンエネルギー分野の投資額が最も大きかった国は、群を抜いて中国であった。同国における推定額は、昨年を17%上回る1,105億ドルで、他国をさらに引き離れた。この背景として、同国の電力需要の増加と、大気汚染を悪化させる石炭火力発電所への依存度の低下、同分野で国際的に優れた企業を輩出するため、政府が風力及び大規模太陽光発電プロジェクトの開発を加速したことが考えられる。

¹50MW以上の大規模水力発電プロジェクトは、このアセットファイナンスや全体の投資額には含まれていない。しかしながら、BNEFでは、2015年に世界全体で430億ドルの大規模水力発電プロジェクトが最終投資判断フェーズに達したと予測している。

中国に続き、米国では2014年を8%上回る560億ドルの投資が行われた。これは2011年にグリーン経済促進プログラムの時代が始まって以来最も高い数字である。「イルドコ」による資金調達、新規太陽光及び風力発電プロジェクトに対する推定額の堅調な成長が背景にある。

欧州における2015年の投資額は、2014年よりも18%低い585億ドルで、2006年以来最低であった。その中において圧倒的に強い成長を見せている国は英国で、昨年の推定額は前年を24%上回る234億ドルであった。ドイツにおける推定額は前年を42%下回る106億ドルであった。同国の太陽光発電向け支援額の低下、陸上風力発電の認可ルールへの変更がされたためと考えられる。フランスにおける投資額はドイツよりも53%低い29億ドルであった。

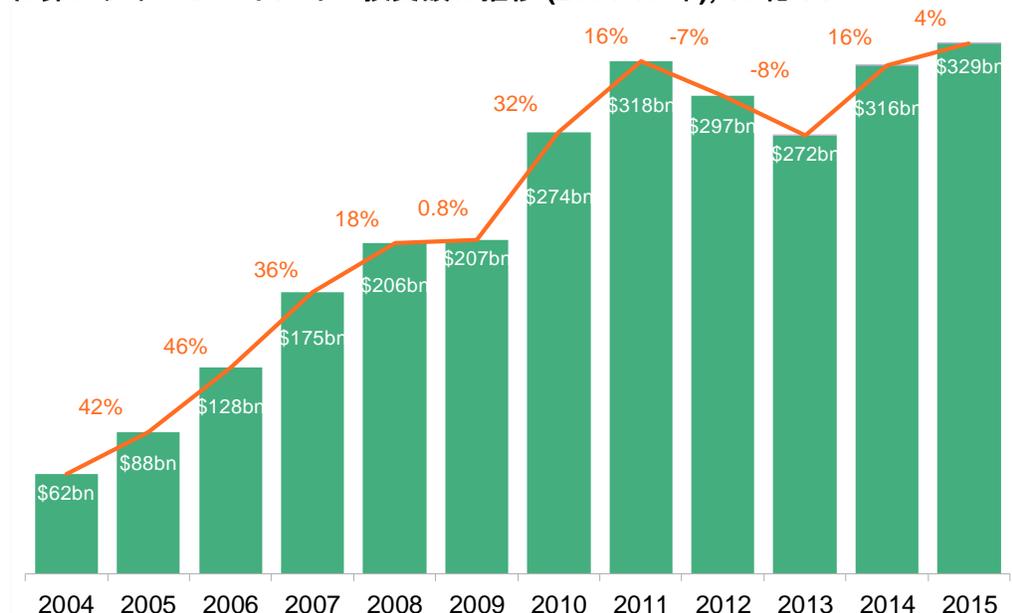
ブラジルのクリーンエネルギー分野における投資額は、2014年よりも10%低い75億ドルであった。一方、インドは23%増加し、2011年以降最大となる109億ドルを記録した。日本では継続的な太陽光発電市場の成長を背景に、前年を3%上回る436億ドルが投資された。カナダのクリーンエネルギー投資は前年を43%下回る41億ドル、一方オーストラリアは16%増加し29億ドルに近づいた。

メキシコ、チリ、南アフリカ、モロッコを含む「新市場」にて、数十億ドル規模のクリーンエネルギー向け投資が行われた。メキシコは42億ドル(114%上昇)、チリ35億ドル(157%上昇)、南アフリカ45億ドル(329%上昇)、そしてモロッコは2014年のゼロから20億ドルにまで増額した。

人口成長が続き、太陽光及び風力の資源が豊富なアフリカ及び中東の2地域は、クリーンエネルギー市場成長の潜在性が大きい。また、アフリカには電化率の低い国々が多い。2地域における2015年のクリーンエネルギー投資額は、前年を54%上回る134億ドルであった。

注:ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスは、投資取引に関する追加情報を反映させるために、前年までの投資額を適度にアップデートしている。現時点における、各年の世界のクリーンエネルギー推定投資額は次の通り:619億ドル(2004年)、880億ドル(2005年)、1,283億ドル(2006年)、1,749億ドル(2007年)、2,056億ドル(2008年)、\$2,073億ドル(2009年)、2,737億ドル(2010年)、3,183億ドル(2011年)、2,970億ドル(2012年)、2,719億ドル(2013年)、3,159億ドル(2014年)、3,293億ドル(2015年)。

世界のクリーンエネルギー投資額の推移 (2004-15年), 10億ドル



出展: Bloomberg New Energy Finance

ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスについて

ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンス(BNEF)は、変化するエネルギーセクターに関する時論やデータ、ニュースの最も信頼性の高い情報ソースです。ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスは、世界各国(ロンドン、ニューヨーク、北京、ケープタウン、香港、ミュンヘン、ニューデリー、サンフランシスコ、サンパウロ、シンガポール、シドニー、東京、ワシントンD.C.、チューリッヒ)の拠点を200人以上のスタッフを配置しています。

BNEF インサイト・サービスは、以下の産業と市場における金融・経済・政策に関する分析を提供します:最先端輸送、バイオエネルギー、炭素回収・貯留、二酸化炭素排出権市場、デジタルエネルギー、エネルギー効率、エネルギー貯蔵、ガス、地熱、水力・海洋、核、電力市場、グリーン電力証書(REC)市場、太陽光、風力。BNEFのインダストリー・インテリジェンス・サービスは、同セクターの資産、投資、企業、設備に関する世界トップレベルの包括的データベースです。BNEFニュース・サービスは、同セクターの金融、政策、経済に特化した大手グローバル・ニュース・サービスです。リクエストベースで個別調査をサポートするほか、エネルギー産業の未来に関する先駆的イベントであるBNEF年次サミットなど、シニアレベルの交流イベントも開催します。

ニュー・エナジー・ファイナンス・リミテッドは、2009年12月にBloomberg L.P.によって買収され、現在、Bloomberg Finance L.P.がそのサービスおよびプロダクトを所有し提供しています(ただし、アルゼンチン、バミューダ、中国、インド、日本、韓国においては、Bloomberg L.P.とその子会社が提供しています)。

ニュー・エナジー・ファイナンスに関するお問い合わせ先:

電話:03-3201-3614

ブルームバーグについて

ブルームバーグは、世界のビジネス・金融情報、ニュースを提供する情報配信ソースです。影響力のある意思決定者を、情報・人・アイデアのダイナミックなネットワークとつなぐことで、決定的な優位性を提供します。ブルームバーグの最大の強みは、迅速かつ正確なデータ、ニュース、分析機能を革新的な技術を用いて配信していることです。現在ブルームバーグプロフェッショナル®サービスを介して、全世界31万5千人超のお客さまにリアルタイムで金融情報を提供しています。